

一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸  
2022年度  
第1回 ひょうご産官学連携協議会  
第1回 コンソーシアム担当者連絡会 議事次第

日 時：2022年9月12日（月）持ち回り開催  
回答期限：2022年9月22日（木）

I. 報告事項

1. 令和4年度私立大学等改革総合支援事業 タイプ3申請について (資料1)

標記に関し、令和4年度私立大学等改革総合支援事業 タイプ3プラットフォーム型に、ひょうご産官学連携協議会として申請するにあたっての基本的な考え方、スケジュールについてご報告します。

II. 審議事項

1. 大学コンソーシアムひょうご神戸 緊急時連絡・連携体制図について (資料2)

緊急時に備えた加盟校間・自治体・地元経済団体等と相互に連絡・連携していくための「緊急時連絡・連携体制図」についてご審議ください。

III. 連絡事項

1. ひょうご産官学連携協議会総会・コンソーシアム担当者連絡会の予定  
日時：2022年10月25日（15：00～16：00）  
場所：オンライン会議（予定）  
議事案：令和4年度私立大学等改革総合支援事業申請について

以上

<資料一覧>

資料1-1：令和4年度私立大学等改革総合支援事業 タイプ3について

資料1-2：令和4年度私立大学等改革総合支援事業 タイプ3申請に伴う達成状況評価シートの作成について（依頼）

資料2：大学コンソーシアムひょうご神戸 緊急時連絡・連携体制図について

**令和4年度  
私立大学等改革総合支援事業 タイプ3について**

# 令和4年度申請に際しての報告事項

## 1) 基本的な考え方

- ・ひょうご産官学連携協議会のプラットフォームをベースとし「中長期計画Ⅱ」を継続して遂行する。

## 2) 令和4年度の方針

- ・昨年度に引き続き、「タイプ3プラットフォーム型」での申請承認を行う。
- ・「地域連携型」への個別申請は、加盟校の独自判断に委ねる。

- ・取りまとめ校                      甲南大学      (理事長校にて対応)

## 3) 申請に向けたスケジュール      (詳細案 次ページ)

- ・調査開示：2022年 7月22日
- ・提出期限：2022年 10月31日
- ・採択公表：2023年 2月予定

# 令和4年度申請スケジュール

		7月	8月	9月	10月
私学事業団		7/22 調査票開示			受理
大学 コンソ ひょうご 神戸	取りまとめ校 (事務局)		申請書類作成		10月末 申請提出
	企画運営 委員会	7/29 第4回 方向性/スケジュール	8/23 第5回 内容検討	9/26~30 第6回内容確認	
	理事会		8/26~9/1 第3回申請報告 メール審議		10月中旬 第4回 最終承認
	加盟校			9/2~9/9 申請承認 レター発信	
	事業委員会			9/12~9/22 中長期計画 自己評価	
	個別申請校			9/9 個別申請校 決定	9/14 個別申請校 説明会
兵庫県			連携協定確認 (今期改定なし)		
ひょうご産官学連携 協議会				9/12~22 協議会 メール審議	10月中旬 協議会 申請承認

# 令和4年度 私立大学等改革総合支援事業の主な変更点について

## 【主な変更点】

- 令和3年度において実施率の高かった設問等について、配点の見直し、内容や選択肢の高度化あるいは廃止
- 教育未来創造会議や中央教育審議会の議論、政府施策の動向等を踏まえ新規設問を設定
- 採択校の固定化を緩和し、昨年度からの伸び率を評価する設問を導入

※

設問数/配点	令和3年度	令和4年度
タイプ1	32問/96点	32問/95点
タイプ2	16問/53点	20問/61点
タイプ3 (地域連携)	20問/53点	21問/53点
タイプ3 (PF)	(共通) 26問/70点 (個別) 20問/47点	(共通) 25問/64点 (個別) 21問/48点
タイプ4	18問/58点	20問/59点

# 共通設問における加点及び今後の課題

## 【新たに加点が可能な共通設問】

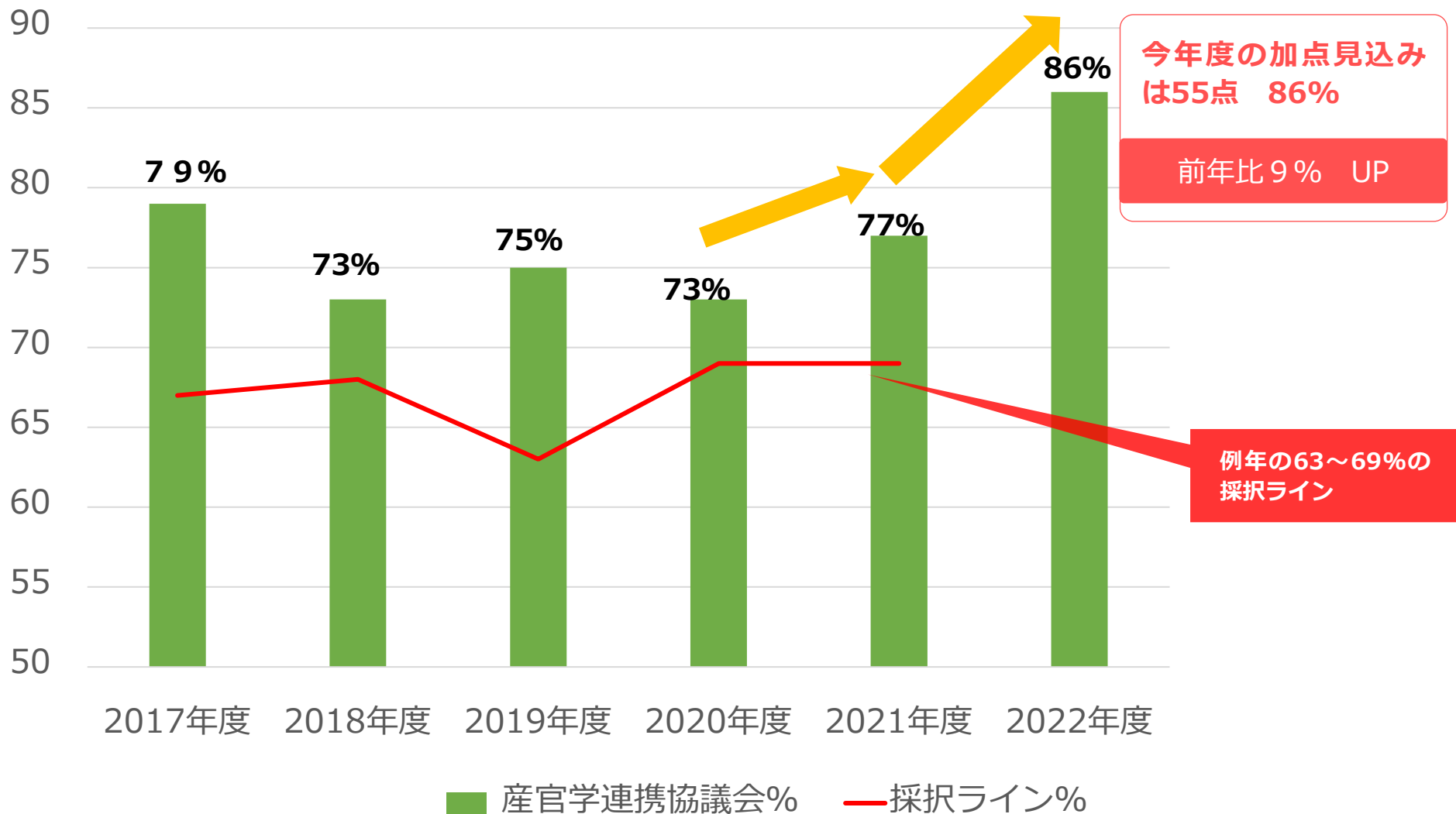
項目	求められる要件	昨年	見込	加点要素
地域における リスクマネジメント体制	大学等や地方自治体、産業界等が連携して、地域における様々なリスク (例：災害、事件・事故、大学等の経営破たん等) に対するリスクマネジメント体制 (例：マニュアル、定期的評価等) がPFとして構築できていること。	0	3	緊急時連絡・連携体制図を作成
人事交流の実施	地方自治体 (又は産業界) と大学間及びPF参画大学等 の間で企画又は実施している。	2	4	PF参画大学間の非常勤講師の人事交流の追加
共同研究の実施	地方自治体 (又は産業界) と共同研究を実施している。	2	3	神戸大学と兵庫県との共同研究追加
共同IRの実施	1.共同でIRを実施し、結果を地方自治体及び地元 産業界等と共有及び議論等を行っている。 2.共同でIRを実施している。	2	3	行政及び地元産業界との共有及び協議書の追加
就職促進の取組の実施	PF参画大学等の7割以上の大学が参画して実施した。	1	2	キャリア委員会担当者、就職支援担当者、キャリア事業参加大学一覧などで7割カバー
合計		7	15	

## 【今後の課題】

- 地方自治体の長が定期的に参画する協議体制の構築とPF運営そのものに対する金銭的な支援
- PF参画している私立大学の7割が個別設問への申請
- PF参画の複数の大学が奨学金制度を設けて、PF参画大学の学生に対して就学を経済的に支援する取組
- PF参画大学等の中で、大学事務の共同実施  
(500万円以上の備品の共同購入又は業務システムの共同開発、導入。)

昨年度より加点が可能な設問が増加している一方、毎年加点できない項目への対応が必要

# 共通設問の採択レベルとコンソの加点の経緯



# タイプ3プラットフォーム型 共通設問の主な変更点

## タイプ3「プラットフォーム型」の主な変更点①

### 【プラットフォーム体制の整備】

自治体、初等中等教育機関との意見交換  
(令和3年度タイプ3PF (共通) ⑧)

PF参画大学と自治体、初等中等教育機関の間で、  
教育政策と中長期計画の整合性や教育の在り方等  
に関する意見交換  
(実施…3点 実施していない…0点)

削除

実施率が100%であり、設問から削除

### 【中長期計画等の実行性関係】

高等教育の各種課題に対する数値目標の設定  
(令和3年度タイプ3PF (共通) ⑩)

具体的な数値で設定された活動指標及び取組全体  
に係る成果としてのアウトカム指標の設定  
(選択肢)  
10種類以上の活動指標及び2種類以上のアウトカム指標の設定…4点  
5～9種類の活動指標及び2種類以上のアウトカム指標の設定…3点  
10種類以上の活動指標及び1種類以上のアウトカム指標の設定…1点  
それ以外…0点

観点を追加

高等教育の各種課題に対する数値目標の設定  
(令和4年度タイプ3PF (共通) ⑪)

具体的な数値で設定された活動指標及び取組全体  
に係る成果としてのアウトカム指標の設定及び達成状  
況等を踏まえた検証や取組の改善の実施  
(選択肢)  
10種類以上の活動指標及び2種類以上のアウトカム指標の設定及び  
達成状況等を踏まえた検証や取組の改善を実施…4点  
5～9種の活動指標及び2種類以上のアウトカム指標の設定及び  
達成状況等を踏まえた検証や取組の改善を実施…3点  
10種類以上の活動指標及び2種類以上のアウトカム指標の設定…2点  
5～9種の活動指標及び2種類以上のアウトカム指標の設定…1点  
それ以外…0点

### 報告会の実施

(令和3年度タイプ3PF (共通) ⑬)

PF内外に向けた報告会の実施  
(実施…2点 実施していない…0点)

削除

実施率が高く、設問から削除



## タイプ3「プラットフォーム型」の主な変更点②

### 「地域連携プラットフォーム構築に関するガイドライン」 (令和2年10月)

地域の理解を得るため、例えば、地域社会や高等教育のビジョン等を策定する際にパブリックコメントなどの意見募集を行うこと、プラットフォームの活動について各種広報誌やWEBサイト・SNS等で広報すること、地元マスコミ等と連携して積極的に周知・広報することなど、幅広い世代に行き渡る手段を用いて情報発信に努めることが考えられます。

新規設問

### 地域の声を把握する取組 (令和4年度タイプ3⑫)

PFの活動等について、幅広い地域社会の意見を反映させるため、地域住民等からの意見募集等、地域の声を把握する取組の実施  
(実施している…2点、実施していない…0点)

### 【中長期計画に関する個別取組内容関係】

#### 共同IRの実施 (令和3年度タイプ3PF (共通) ⑭)

PF参画大学等において共同でIRを実施  
(実施している…2点 実施していない…0点)

観点を追加

#### 共同IRの実施 (令和4年度タイプ3PF (共通) ⑭)

PF参画大学等において共同でIRを実施し、地方自治体及び地元産業界等と結果の共有及び改善の協議  
(実施及び共有・協議…3点 実施のみ…1点 実施していない…0点)

#### 学生募集活動に係る取組

(令和3年度タイプ3PF (共通) ⑯、(個別) ⑮)

A: 共同で高校、高校生、保護者へのニーズ調査  
B: 共同の説明会又は高校訪問  
C: 共通HP等による広報活動  
(3つ実施…2点 2つ実施…1点 該当しない…0点)

観点を追加

#### 学生募集活動に係る取組

(令和3年度タイプ3PF (共通) ⑯、(個別) ⑮)

A: 共同で高校、高校生、保護者へのニーズ調査  
B: 共同の説明会又は高校訪問、及び共通HP等による広報活動  
C: 地域の学生への経済的支援  
(3つ実施…2点 2つ実施…1点 該当しない…0点)

## その他の主な変更点

既採択校が継続して採択されやすい傾向など、本事業を活用した教育改革に積極的に取り組む大学と公募も行わない大学の2極化が進んでおり、今後の私立大学全体の改革促進枠組みとしての効果に懸念



### 改革の取組の進展を評価

満点に対する得点の割合が昨年度から向上している場合に加点

【タイプ2】（令和4年度タイプ2<sup>㉑</sup>）

（対前年度比で15%以上向上…5点 10%以上向上…3点  
5%以上向上…1点 該当しない…0点）

【タイプ3（地域連携）】（令和4年度タイプ3（地域連携）<sup>㉑</sup>）

（対前年度比で15%以上向上…5点 10%以上向上…3点  
5%以上向上…1点 該当しない…0点）

【タイプ3（プラットフォーム）】（令和4年度タイプ3（PF個別）<sup>㉑</sup>）

（対前年度比で15%以上向上…2点 5%以上向上…1点  
該当しない…0点）

【タイプ4】令和4年度タイプ4<sup>㉑</sup>）

（対前年度比で20%以上向上…5点 15%以上向上…3点  
10%以上向上…1点 向上していない…0点）

【参考：タイプ1 ※R3に導入済】

（対前年度比で20%以上向上…5点 10%以上向上…3点  
5%以上向上…1点 向上していない…0点）

2022年9月吉日

大学コンソーシアムひょうご神戸  
事業委員会 委員長 副委員長 各位

大学コンソーシアムひょうご神戸  
理事長 中井 伊都子

「令和4年度 私立大学等改革総合支援事業(タイプ3プラットフォーム型)」への  
申請に伴う達成状況評価シートの作成について (依頼)

拝啓 新秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は大学コンソーシアムひょうご神戸の活動に深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標題の件につきまして、2021年度の実績及び2022年度の実績・計画、並びに達成状況評価を記載の上、ご提出いただきますようお願いいたします。

大変お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、申請準備の関係上、9月22日(木)までに当コンソ事務局までご提出をお願い致します。ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせ下さい。

当コンソの更なる発展と事業の充実のため、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

## 記

### ○記載をお願いする事項

様式3)の「実績」欄の記入(※1)、及び「評価・備考」欄への評価(※2)の記載

※1:対象期間は次のとおりです

2021年度実績:2021年4月~2022年3月

2022年度上期実績:2022年4月~2022年9月

2022年度下期計画:2022年10月~2023年3月

※2:評価は次のいずれかを選択してください

S:当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている

A:当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる

B:当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる

C:当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。

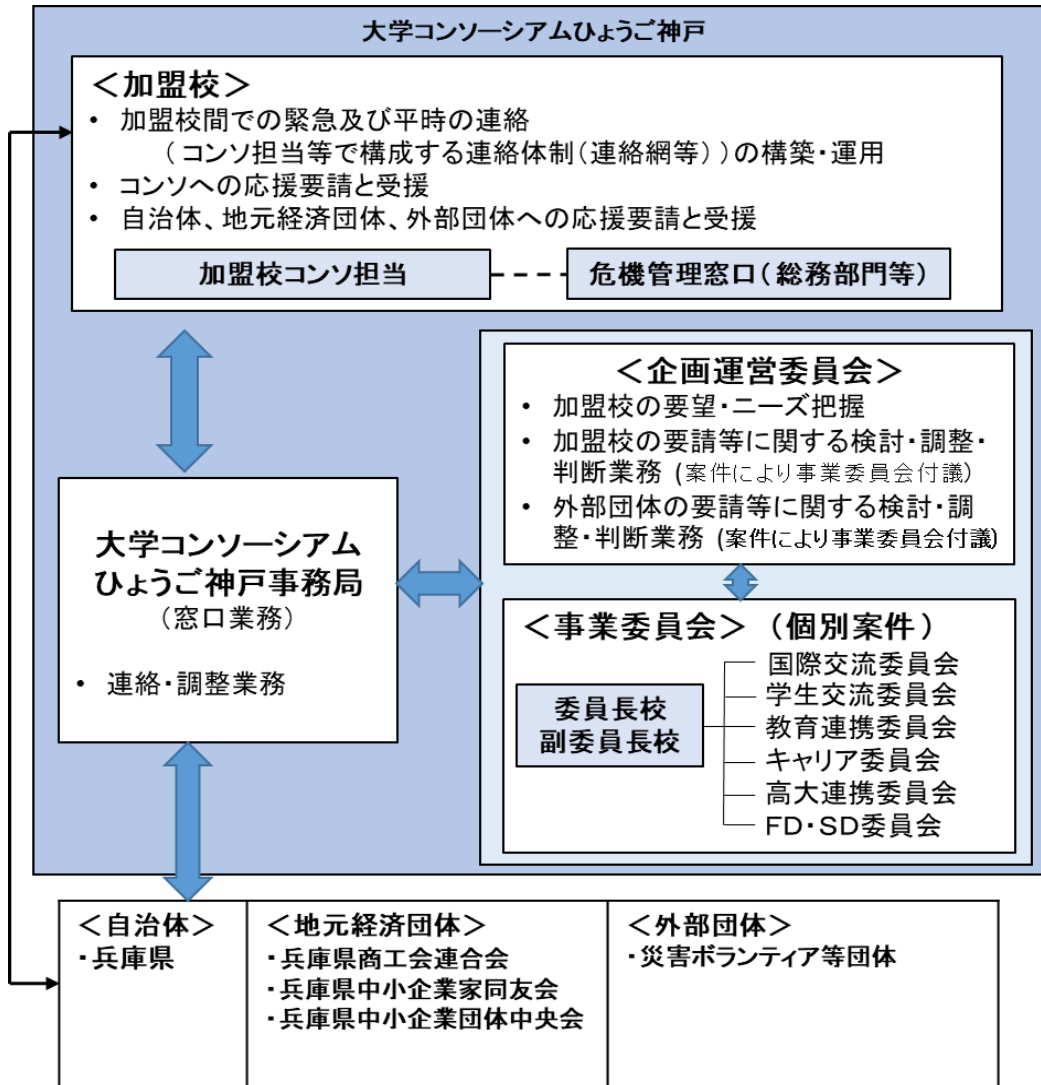
D:当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。

### ○今後のスケジュール(予定)

- ・9月12日 各事業委員会への達成状況評価シートの作成依頼
- ・9月22日 各事業委員会から達成状況評価シートの提出
- ・10月上旬 第4回理事会にて申請内容の審議(共通設問、達成状況評価他)
- ・10月中旬 ひょうご産官学連携協議会総会にて申請内容の審議
- ・10月30日 日本私立学校共済・振興事業団への申請書類提出

以上

- 大学コンソーシアム神戸及びひょうご産官学連携協議会では緊急時に備えて、加盟校間・自治体・地元経済団体等と相互に連絡・連携できるよう「緊急時連絡・連携体制図」を整える。
- 具体的には、連携団体間で連絡網(コンソ担当等を登録)を作成し、共有・運用する。
- 体制図に基づく連絡網は、緊急時だけでなく平時にも活用すると共に、本連絡・連携体制図に基づき、加盟校のニーズに応じた、大学間連携におけるリスクマネジメントのあり方を継続的に検討する。



## <緊急時連絡・連携体制の考え方>

※ 平時にも使用可能

- 想定外事象を対象 (Ex.) 自然災害、感染症等
- 連携内容 (加盟校のアンケート結果より)
  - ① 大学間の連絡体制  
緊急連絡、安否確認、情報受発信
  - ② 学びの継続  
施設・設備の相互利用
  - ③ 物資の共有  
医療物資、飲料等

## [ 緊急時連絡・連携体制図について (概要) ]

- 自然災害、感染症等の想定外事象を対象としつつも、平時にも使用可能な体制とする。
- 大学コンソーシアムひょうご神戸の連絡・連携図は、企画運営委員会、各事業委員会の現行体制を活かした緊急時及び平時の体制づくりを目指す。
- 当面は、現行の大学コンソーシアムひょうご神戸の仕組みを活かして、危機管理体制強化のためのリスク・コミュニケーション、学びの継続、ボランティア活動等支援のための連絡・連携体制を整備・運用し、緊急時対応訓練等によって、緊急時対応能力の向上・維持に努めるものとする。
- 自治体・地元経済団体・外部団体と大学コンソーシアムひょうご神戸との組織間での地域連携を図る。
- 具体的な連携内容は、「リスクマネジメント体制に関するアンケート(調査期間:2022.5.22～6.20)」結果より、  
① 大学間の連絡体制（緊急連絡、安否確認、情報受発信） ② 学びの継続（施設・設備の相互利用）  
③ 物資の共有（医療物資、食料・飲料等）とする。

### 〈 加盟校 〉

- 加盟校は、通常の窓口である「コンソ担当」(または、コンソ担当を介して「災害時緊急対応窓口(総務部門等)」) から、コンソ事務局に連絡・相談を行い、加盟校間で情報共有を図る。
- コンソ担当等で構成する連絡体制(連絡網等)の構築・運用を図る。
- 加盟校の状況・要望を反映して、現在の「コンソ担当」とは別の「災害時緊急対応窓口(総務部門等)」の個別登録の必要性があれば検討し、平時の連絡にも使用できる名簿として活用する。

### 〈 企画運営委員会 〉

- 企画運営委員会が中枢機能を果たし、コンソ事務局に集まっている様々な災害情報などを大学コンソーシアムひょうご神戸の組織として整理・検討し、理事会への附議や各事業委員会への事案対応依頼などを行う。

### 〈 事業委員会 〉

- 企画運営委員会で協議し、各事業委員会としての活動の範疇に含まれると判断した事案について対応する。

### 〈 コンソ事務局 〉

- 窓口は「コンソ事務局」に一本化し、加盟校及び外部機関との連絡・調整業務を実施する。
- 企画運営委員会、事業委員会の決定事項は、全てコンソ事務局を經由して通知する。